Vol.10

弘前大学附属図書館　電子リソース活用のための使い方ガイド

Compass

Contents

◆CiNii Research を自宅にいながらキャンパス内と同じように使いたい！

◆学認でログインすると…

◆電子リソースをもっと使いこなすために

CiNii Research をキャンパス内と同じように使いたい！

CiNii　家からだと使いにくい…

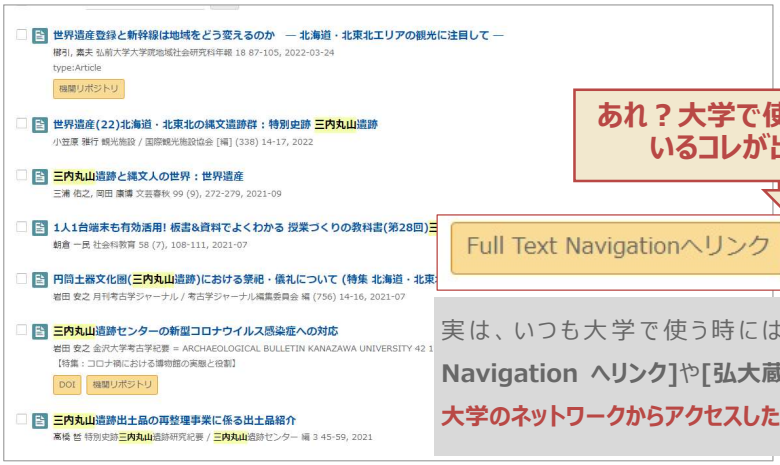
「日本語文献の検索と言えば CiNii だよね」「インターネットがあれば家からでも使えるので便利便利♪」ということで、文献検索の王道ツールとして使っている方も多いはず。

でも家から使うと、なんかいつもと違うような気が…。よく使う便利な「アレ」が画面に表示されないんだけど…”(-“”-)”

こんな経験はありませんか？

CiNii Research は国内で刊行された雑誌の文献情報や博士論文、科研プロジェクトなどを一括で検索できる日本語文献のデータベースです。国立情報学研究所が運営していて、一般公開されているので、誰でも無料で利用することができるので、インターネットさえあれば自宅などからも使えます。

でもこれ、大学のキャンパス外から使うと、なにかいつもと違う感じがしませんか？



← CiNii Research
検索結果画面

あれ？大学で使う時は表示されているコレが出てこないっ！

Full Text Navigationへリンク　弘大蔵書検索へリンク

実は、いつも大学で使う時には表示される、**[Full Text Navigation へリンク]**や**[弘大蔵書検索へリンク]**のボタンは、**大学のネットワークからアクセスした時にだけ表示**されるんです。

そのため、目的の雑誌や本、電子版が弘大で利用できるかを確かめるには、電子ジャーナルリストや弘大蔵書検索 OPAC や図書館 HP などを開いて、もう一度調べなおす必要があります。これってちょっと不便‥‥

それぞれ検索するのは大変

そこでオススメなのが**学認ログイン**　>>>　NEXT PAGE

学認でログインすると学内仕様に

弘前大学で契約している電子ジャーナルなどを学外からも利用したい時に使うリモートアクセス方法、「**学認（がくにん）**」がここで役に立ちます。

◆◇電子リソースをもっと使いこなすために◇◆

契約している製品は基本的に学外から使えます！

弘前大学で契約している電子ジャーナル・データベースはほとんどの製品が学外からも利用できるように設定しています。今回ご紹介した「学認」は最も簡単な方法で、特別な手続きをしなくてもすぐに使えます。ホームページに、製品ごとのマニュアルを揃えていますので、ぜひご活用ください。

https://ul.hirosaki-u.ac.jp/retrieval/resources/manual/

参考情報

CiNii Research について
https://support.nii.ac.jp/ja/cir/manual_outline
国立情報学研究所が運営する CiNii Research についての概要が確認できます。CiNii Research は文献情報だけでなく、外部連携機関、機関リポジトリ等の研究データ、科研費の研究プロジェクト情報などを横断的に検索することが可能です。（2023-3-6 Accessed）

学認 GakuNin 公式サイト
https://www.gakunin.jp/fed
リモートアクセス方法の「学認」について、そのしくみが紹介されています。（2023-3-6 Accessed）

CiNii Research ログイン画面
https://cir.nii.ac.jp/?lang=ja

問合せ

弘前大学附属図書館
資料管理グループ雑誌情報担当
Tel:
0172-39-3157
Mail:
jm3157@hirosaki-u.ac.jp

附属図書館 HP

https://ul.hirosaki-u.ac.jp/

電子ジャーナル・データベースに関する講習会・オンラインセミナーなどの案内も掲載中！